

2026年4月26日 復活節第四主日礼拝説教

「苦しみに結ばれる歩み」(Iペトロ2章19～25節)

○Iペトロ2章19節のみことば

「不当な苦しみを受けることになっても、神がそうお望みだとわきまえて…」

【原語】不当な：(キリストに従う歩みで許される) 罪の報いでない、自らの外から来る

☞「なぜ、どうして」と嘆くしかない苦しみのうちにも隠されている〈神の御心〉

「善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うこと」(20節)

【原語】善：(神の御前で) 正しいと見做されること、キリストに聞き従う歩み

☆みことばに聞きながらも、許される苦しみは、〈耐え忍ぶこと〉を学ぶ道

問：救われても、なお、悲しみや悩みと共に生きねばならないのか？

今日のみことば：Iペトロ2章21節

「キリストもあなたがたのために苦し^{くる}み^うを受け、その足跡^{あしあと}に続^{つづ}くようにと、模範^{もはん}を^{のこ}残された」

※あなたが抱える痛みも病も、キリストの苦し^{くる}み^うを知るためでもある。

「十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」(24節)

⇒キリストと苦しみを分かち合う中で、この方の〈愛の深さ〉が見えてくる。

*聖書翻訳本文は日本聖書協会『聖書 新共同訳』からの引用です。